

平成 20 年 5 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社夢真ホールディングス
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 佐藤 眞吾
(コード番号; 2362 大証ヘラクレス)
問 合 せ 先 取締役 赤城 俊二
電 話 番 号 03-6674-4605

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 11 月 27 日の決算発表時に公表いたしました平成 20 年 9 月期（平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）中間業績予想〔連結・個別〕を、下記のとおり修正いたします。

記

I 中間期（連結・個別）業績予想の修正

1. 20 年 9 月期中間連結業績予想数値の修正（平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	4,000	500	420	240	円 銭 3 35
今 回 修 正 予 想 (B)	3,836	237	128	242	3 39
増 減 額 (B-A)	△164	△263	△292	2	—
増 減 率 (%)	△4.1	△52.6	△69.5	0.8	—
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 9 月期中間)	31,689	549	628	△113	△1 58

2. 20 年 9 月期中間個別業績予想数値の修正（平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	3,700	490	410	230	円 銭 3 21
今 回 修 正 予 想 (B)	3,225	282	170	787	10 97
増 減 額 (B-A)	△475	△208	△240	557	—
増 減 率 (%)	△12.8	△42.4	△58.5	242.1	—
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 9 月期中間)	522	72	33	△10	△0 14

II 修正の理由

(1) 個別業績予想

改正建築基準法の影響のため、派遣稼動人員数・施工図作成枚数ともに予想より大幅に減少し、売上高は予想より△475百万円となる見込みであります。

また営業利益、経常利益におきましても、人材確保のための販売管理費増加や出資金の損失等により、予想よりそれぞれ△208百万円、△240百万円となる見込みであります。

当期純利益に関しましては、経常利益は170百万円となる見込みですが、特別利益にて781百万円（①株式会社夢真の吸収合併に伴う株式消滅益626百万円、②関係会社株式の譲渡に伴う有価証券売却益145百万円、③貸倒引当金戻入益10百万円）、特別損失にて△30百万円（①出資金の売却による損失5百万、②非上場株式の評価減損処理10百万、③子会社への貸付金に対する貸倒引当金計上14百万）、法人税等調整額にて△134百万円（税効果等の見直しによる）を計上することにより、予想より+557百万円の当期純利益787百万円となる見込みであります。

(2) 連結業績予想

連結業績予想につきましては、売上高、営業利益、経常利益の減少は、主に個別業績予想の修正に伴うものです。

当期純利益に関しましては、経常利益は128百万円となる見込みですが、特別利益にて258百万円（①関係会社株式の譲渡に伴う有価証券売却益154百万円、②貸倒引当金戻入益10百万円、③連結子会社の事業譲渡益94百万円）、特別損失にて△16百万円（非上場株式の評価減損処理による）、法人税等調整額にて△138百万円（税効果等の見直しによる）、少数株主損失10百万円（連結子会社の夢真キャピタルが運営をしているファンドの当社持分損失）を計上することにより、予想より+2百万円の当期純利益242百万円となる見込みであります。

※ 業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき予測したものであり、リスクや不確定要素が含まれております。従いまして、当社グループを取り巻く経済情勢・市場動向・競合状況等により、実際の業績が記載の金額の予想数値と大幅に異なる可能性がありますので、ご承知おき下さい。

尚、平成20年5月20日に取締役会決議を経て、平成20年9月期通期業績予想（連結・個別）の修正を開示し、引き続き平成20年9月期中間決算短信を開示いたします。

以 上